



はいのたね



栄養部門からのお知らせ

平成29年4月より、当院入院患者様へ提供させて頂いている食事を外部委託から自院で行うことに切り替えました。食事治療の一環で極めて重要であるという院長からの助言もあり、昨年からの改善に取り組み始めました。患者様に満足して頂きたいというスタッフの思いから、阿藻珍味の阿藻社長に相談、プロからの御指導を頂き開始することができました。患者様のことを第一に考え、喜ばれる顔を見たいという思いを込めて、メニュー作りから調理まで一層の努力をして参りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



美化活動

今年も6月3・24日に美化活動を行いました。朝早くから開始し、気持ち良く患者様を迎えられるように頑張りました。

身も心も美しく♡

眩しいくらいにピッカピカ♪

最後までやり遂げます！！

私におまかせ下さい★

美化

新任職員紹介

濱岡 (非常勤薬剤師)

以前勤務していた病院とシステム等が異なり、当初業務に慣れませんでした。少しずつ落ち着いて行くことが出来るようになりました。皆様にご迷惑をお掛けするかと思いますが、宜しくお願いします。

菊地 (看護師)

1つずつ確実に仕事を覚え、1日でも早く慣れるよう頑張ります。そして、患者様が安心して通院・治療が受けられるように、そのサポートが出来ればと思っています。そのために、学ぶ姿勢を忘れず、笑顔で心をこめた看護を行うよう努めていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

清水 (看護助手)

日々勉強をして知識や技術を身につけ、患者様に安心して頂けるよう努力します。1日も早く仕事に慣れるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

藤井 (医療事務)

過去にもこの仕事をしておりましたが、出産・子育ての為10年以上ブランクがあります。慣れない事も多くご迷惑をおかけしておりますが、早く仕事を覚えられるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

松本 (調理師)

4月より自院での食事提供となり、日清医療から当院職員として勤務する事になりました、まっちゃんです。今まで以上に皆様・患者様に満足して頂けるよう日々努力して参ります。しっかり召し上がれ♡

田邊 (栄養士)

患者様に食事を楽みにして頂き、満足して頂けるよう、努力していきます。院内最年少ということで、まだまだ未熟な私ですが、先輩方の御指導のもと、たくさんの経験をしていけたらと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

エビデンスに基づいた医療ということ

西川 敏雄

今日、医療はエビデンス（根拠）に基づくということが重要とされています。例えば、抗癌剤による治療を考える場合、大人数の患者さんを2組に分け、各々別々の薬剤を用いて治療を行い、結果が良好であった薬剤が以後の標準治療薬となり、この薬剤を用いた治療がエビデンス、根拠に基づいた治療ということになります。経験だけに頼る医療や、治療における恣意的・主観的な評価、偏りをさけるためにこういったことが重要視されるようになりました。



もちろんエビデンスは重要で、我々医療従事者はこれを知ったうえで治療を行っていますし、そうする必要があります。ただ、このエビデンスといったものは、病気でない健康な研究者が大きな視点（大人数をすっぱり2組に分ける）で作られることが多く、病気がない人が感じるかもしれない“生か死か”といった切実な感情や、個々の視点（患者さん一人一人はすっぱり2組に分けられるようなものではない。もともと持っている病気や体力、家庭や社会環境などは様々です）が欠落している場合もあるように思われます。



例えば、進行肺癌で抗癌剤治療を行う場合でも、もともとの体の状態が良くない場合には抗癌剤治療は勧められないといったエビデンスがあります。それは確かに科学的なのですが、なんとか病気の治療をしたい、頑張りたいと藁にも縋る思いで受診された患者さんに“あなたには抗癌剤治療はできません”とお伝えすることは我々にとってもかなりつらいことです。

従来は（特に日本では）経験や勘に基づく治療が主体であったと思いますが、それでもなんとか頑張ろう！やってみよう！！といった医療従事者・患者の熱い思いや信頼関係は、今よりも強かったのかもしれない。エビデンス、科学的といえは聞こえはいいですが、なんとなくドライな印象もあるように思います。

今後、医療はどのような方向に進んでゆくのでしょうか。我々は科学の重要さを認識したうえで、なおかつ日常臨床（患者さんのおられる現場）での視点を大事にしながら診療を行ってゆきたいと思っています。

事件は会議室で起きてるんじゃない！

現場で起きてるんだ！！・・・踊る大捜査線より

